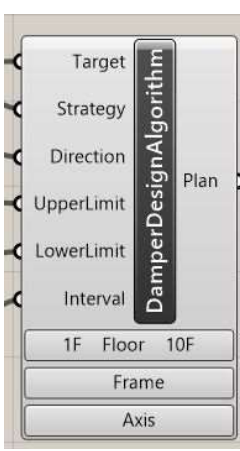


5.3 DamperDesignAlgorithm コンポーネント

Panel	Component	Description
		<p>ターゲットとして入力した部材範囲にあらかじめ配置したダンパー部材に対し、指定したパラメトリックスタディの戦略を適用し、条件指定に応じた複数のプランを出力します。</p> <p>あらかじめパラスタ対象とするダンパーリストは RESP-D 側でご指定ください。（変位依存型／速度依存型に区分の上、パラスタモデルが生成されます。同区分で異なるダンパー種別についても、同列に処理されますので、パラスタしたいダンパー種別のみ定義するようにしてください。）</p> <p>本コンポーネントにおいて設定する戦略としては、変位依存型ダンパー、速度依存型ダンパーそれぞれのダンパー量のパラスタ、変位依存型・速度依存型ダンパーの比率のパラスタを想定します。</p> <p>パラスタモデルの出力条件としては、上下限の比率、出力比率の間隔を指定できる仕様となっています。</p>

Input

Name	Short Name	Description	Type
Target	Target	適用範囲として指定する部材範囲を入力 （空欄とした場合、その項目に関しては、選択範囲が全指定となります。）	Member object
Strategy	Strategy	適用戦略の指定 HysteresisDamperCapacity：変位依存型ダンパー量のスタディ OilDamperCapacity：速度依存型ダンパー量のスタディ DamperRatio：変位依存型・速度依存型ダンパーの比率のスタディ Mark="*"だけとしたときにモデル生成できませんでしたので、確認させていただきたいです。	String
Direction	Direction	パラスタするダンパーの導入方向を指定 （ちなみに、両構面はスタディ可能でしょうか？）	String
UpperLimit	UpperLimit	パラスタモデルの上限レンジの指定	Integer
LowerLimit	LowerLimit	パラスタモデルの下限レンジの指定	Integer
Interval	Innerval	パラスタモデルの出力間隔を指定	String

Output

Name	Short Name	Description	Type
Plan	Plan	生成プランをオブジェクトとして出力	Plan object

④範囲指定したダンパー部材に対し、パラスタ戦略を適用したプランを生成する場合

1. 「SelectMemberRange」コンポーネントを使用します。

(ア) 対象: 「Brace」部材

(イ) 範囲①の指定:

- 層範囲: 1F から 10F
- フレーム範囲: 全範囲
- 軸範囲: 全範囲

2. 「DamperDesignAlgorithm」コンポーネントを使用します。

(ア) 対象: 範囲指定①

(イ) 処理内容:

- ① 「Strategy」により指定した戦略を適用
- ② 「Direction」により指定したダンパー方向を対象に戦略を適用

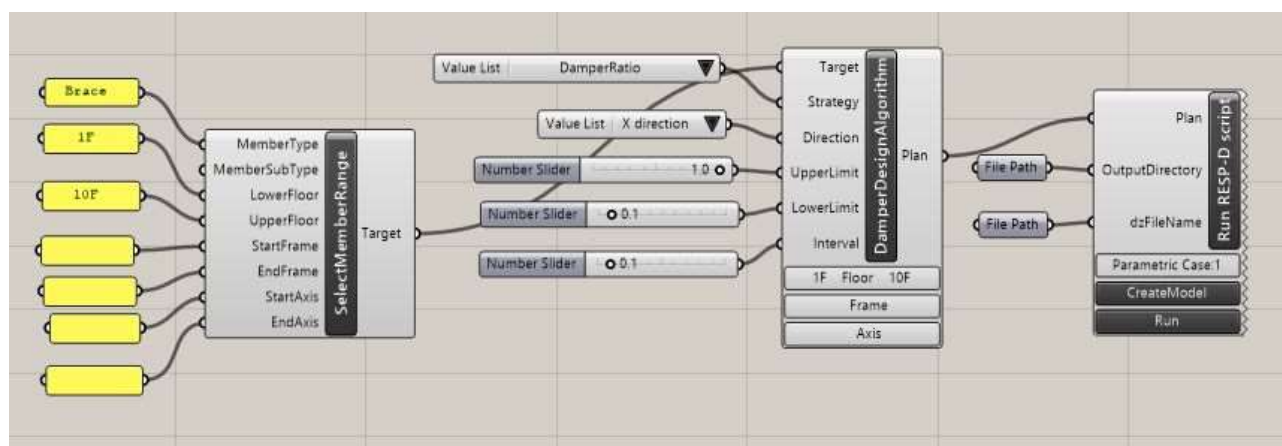
(ウ) 生成される複数のパラスタプランのパラメータ調整:

- ① 「UpperLimit」: 設定された戦略による出力モデルの上限パーセンテージ
- ② 「LowerLimit」: 設定された戦略による出力モデルの下限パーセンテージ
- ③ 「Interval」: 設定された戦略による出力モデルの出力間隔

3. 「RunRESP-Dscript」コンポーネントに接続します。

(ア) 処理内容:

- ① 設定したパラメータに基づいて、指定したダンパー部材に対し、パラスタ戦略を適用した複数のパラスタ解析モデルを一括生成
- ② 該当モデルの解析を実行



●本書の一部または全部を株式会社構造計画研究所の許可なく複製することを禁じます。

●本書の内容は予告なく変更することがあります。

●製品名などの固有名詞は、各メーカーの登録商標または商標です。